

ダイロートン健康快適天井材

「クリアトーン 12SⅡラインアート」 「クリアトーン 9 ラインアート」 「クリアトーン 12SⅡ」

「クリアトーン 9」 「クリアトーン 9 プラス」 「パステルトーン」

ダイケンボード木質調湿天井材

「しずかW」



施工説明書

施工業者様用

目次

1. 安全上のご注意 P.1	5-1. 施工手順（ラインアートの場合） P.4 ~ 5
2. 保管・取扱い時のご注意 P.1	5-2. 施工手順（レンガ張りの場合） P.6
3. 製品形状 P.2 ~ 3	5-3. 施工手順（流し張りの場合） P.6
4. 施工に必要な工具 P.3	5-4. 施工手順（オンクロス施工の場合） P.7
		6. 造作部材納まり図 P.8

「施工業者様へのお願い」

■弊社では、お施様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施様に手渡ししていただきますようお願いいたします。

（取扱説明書は弊社HP <http://www.daiken.jp/> よりダウンロードも可能です）

■この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。

施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。

■本製品を廃棄するときは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」

に従い適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。



1. 安全上のご注意

安全のためにお守りください



注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



注意

【使用上の注意】

- 住宅の内装用仕上げ材です。屋外には使用できません。
- 浴室など湿気の多いところへの施工は避けてください。
- ダイロートン健康快適天井材を用いて省令準耐火構造の住宅とする場合の仕様は、特記仕様書をご確認ください。

【取扱い上の注意】

- 労働衛生の予防措置として以下のことに留意してください。
 - ①天井材カット時の加工はカッターナイフ等の手動工具を使用してください。
 - ②必要に応じて防じんマスク、保護手袋、保護メガネを着用してください。
 - ③十分な粉じん対策をおこない取扱ってください。
 - ④取扱い後は、うがいおよび手洗いをおこなってください。
- 本製品を投げたり、乱暴に取扱うと角部、実部、表面を傷つけることがありますので、取扱いには十分に注意してください。実部は折れやすいので、特に注意してください。

【施工上の注意】

- 捨て張り工法をおすすめします。下地には厚さ 9.5mm以上の石膏ボードまたは厚さ 5.5mm以上の合板を捨て張りしてください。
- 表面汚れ防止のため、新しい手袋を着用して施工してください。
- 釘打ち機、エアネイラを使用する場合はエアドレーンを十分に抜いてください。エアドレーンが天井材に付着するとシミとして残りますので注意ください。
- 施工時および施工後しばらくの間（3 昼夜程度）の相対湿度は、85% 以下としてください。

【廃棄上の注意】

- ダイロートン健康快適天井材を廃棄するときは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い「ガラスくず及び陶磁器くず」として適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。
- ダイケンボード木質調湿天井材を廃棄するときは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い「木くず」として適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。

2. 保管・取扱い時のご注意



注意

- 野積み、または立てかけて放置しないでください。変形する恐れがあります。
- 直射日光や水ぬれ、湿気の少ない平坦な屋内で、パレット等の上に平積み保管してください。
- 開梱後、長時間放置すると変形してしまう恐れがありますので、速やかに施工してください。
- 運搬の際は周囲に接触しないようにしてください。破損の恐れがあります。

3. 製品形状

天井材

■平面図



梱包・入数：ダンボールケース18枚(3.3㎡)入り

■断面図

<p>「しずかW」 基 材：インシュレーションボード</p>	<p>「クリアトーン 12SⅡ」 基 材：調湿ロックウール吸音板</p>
<p>「クリアトーン 12SⅡラインアート」 基 材：調湿ロックウール吸音板</p>	<p>「クリアトーン 12SⅡ <201> <202> <204>」 基 材：調湿ロックウール吸音板</p>
<p>「クリアトーン 9」「パステルトーン」 「クリアトーン 9 プラス (<401> を除く)」 基 材：ロックウール吸音板</p>	<p>「クリアトーン 9 ラインアート」 「クリアトーン 9 プラス <401>」 基 材：ロックウール吸音板</p>

専用施工部材

■断面図

12mm厚用	9mm厚用
<p>「目透かし見切12」</p> <p>長さ:2,730mm</p> <p>材質: ベース材:ABS樹脂 カバー材:PVC樹脂</p>	<p>「目透かし見切9」</p> <p>長さ:2,730mm</p> <p>材質: ベース材:ABS樹脂 カバー材:PVC樹脂</p>

3. 製品形状

12mm厚用	9mm厚用
<div>「透過層付見切12」</div> <div>長さ:2,730mm</div> <div>材質: 見切部:ABS樹脂 透過層:ASA樹脂</div> <div></div>	<div>「透過層付見切9」</div> <div>長さ:2,730mm</div> <div>材質: 見切部:ABS樹脂 透過層:ASA樹脂</div> <div></div>

4. 施工に必要な工具

カ ツ ト	<div>■カッターナイフ</div> <div></div> <div>■電動卓上スライド丸ノコ</div> <div></div> <div><div>!</div><div>専用施工部材 のカットに使用します。</div></div>
	<div>■酢酸ビニル樹脂系 エマルジョン形接着剤</div> <div><div><div>主成分：酢酸ビニル樹脂</div></div></div> <div>■スピーデル工法用接着剤</div> <div><div><div>本単位での発注品番 WF30-BS01 梱単位での発注品番 WF30-BS10 (入数：ダンボールケース 10 本入り) 主成分：変成シリコーン樹脂 容量：333ml / 本</div></div><div><div>!</div><div>オンクロス施工の場合、 に必ず使用してください。</div></div></div>
取 り 付 け	<div>■釘打機(ステープル)</div> <div><div><div>ガンタツカ</div></div></div> <div>■仮 釘</div> <div><div></div><div><div>!</div><div>張り始めと張り終わりの列の 天井材を仮固定します。</div></div></div>

5-1. 施工手順（ラインアートの場合）

該当製品

「クリアトーン 12SⅡラインアート」 「クリアトーン 9 ラインアート」
「クリアトーン 9 プラス <401>」

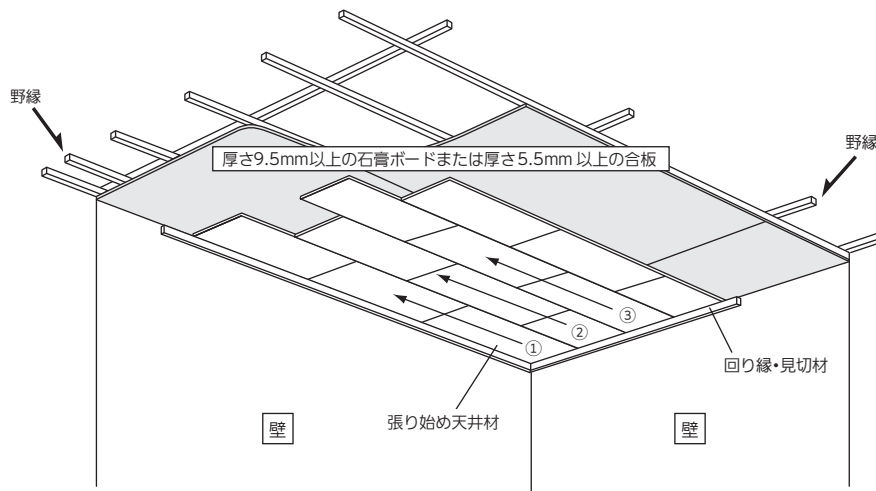
捨て張り工法をおすすめします

レンガ張り

(1) 下地施工

■下地には厚さ 9.5mm以上の石膏ボードまたは厚さ 5.5mm以上の合板を捨て張りしてください。下地の不陸やビスの飛び出しがないように隙間なく張ってください。

■捨て張り材のジョイント部と天井材のジョイント部が重ならないように施工してください。



(2) 割付け寸法確認

■施工する天井面の寸法を測定し、張り終わり側(右図a部およびb部)の製品寸法を確認してください。

■張り終わり側の寸法が下記目安寸法以下になる場合は張り始めの列の製品の雄実側をカットして調整してください。

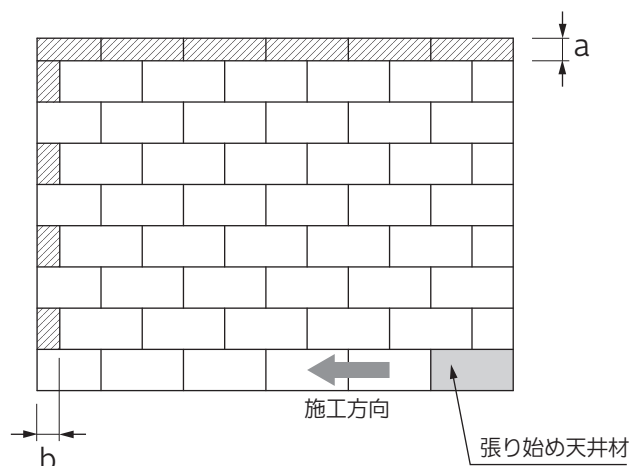


注意

【張り終わりの目安寸法】

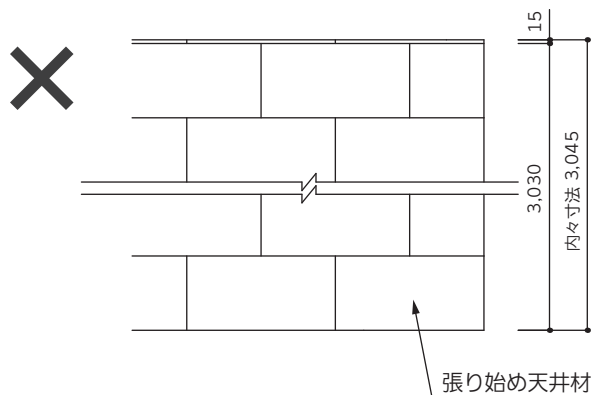
回り縁納めの場合：30mm 以上
見切材納めの場合：100mm 以上

※張り終わりの寸法が目安寸法よりも小さくなると施工ができなくなる可能性があります。



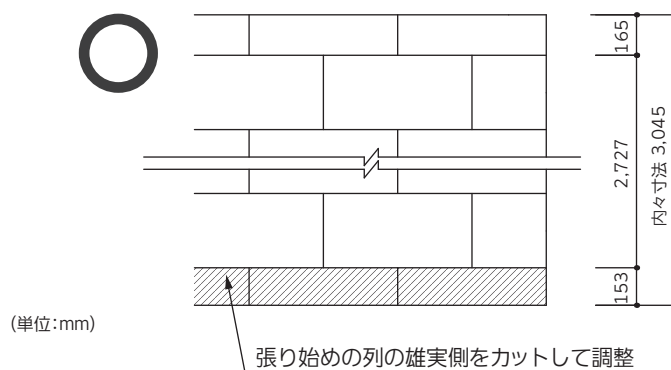
【参考：張り終わり側の製品寸法が小さくなる場合の例】

■寸法調整していない場合



■張り始めの列の寸法を調整した場合

(下図は雄実側を 150mm カットした場合の例)



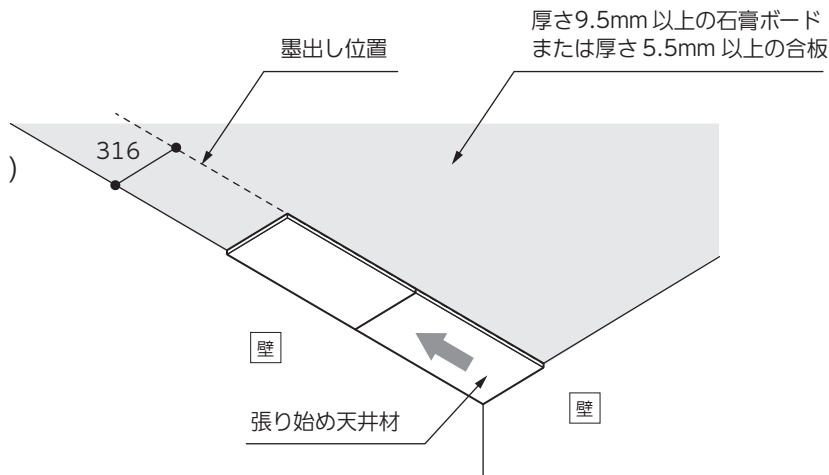
条件：関東間（910 モジュール）で 3.5 モジュール、柱寸 120 角、9.5mm 石膏ボード使用の場合
⇒張り終わりの寸法が15mm となるため、張り始めの寸法を調整してください。

5-1. 施工手順（ラインアートの場合）

(3) 張り始めの列の墨出し

■製品をカットせずに張り始める場合は、
張り始め側の壁面から 316mm
(＝短辺方向の雄実端部～雌実端部までの長さ[※])
の位置に墨出しを行い、雌実の端部を墨出し
ラインに合わせて施工してください。

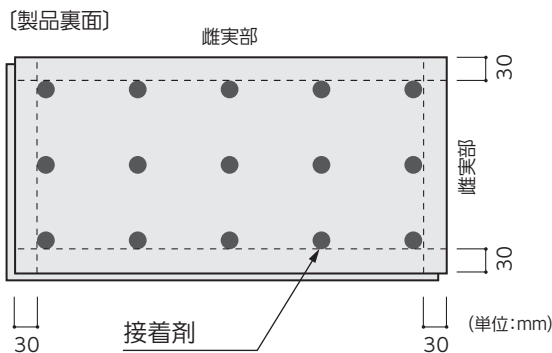
※製品をカットする場合はカット面～雌実端部
までの長さに合わせて墨出ししてください。



(4) 天井材の施工

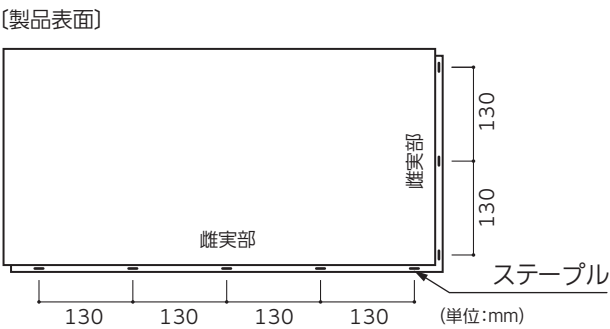
■天井材は必ず接着剤とステープルを併用してください。

接着剤塗布位置



- 木工用ボンド（酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤）
- 15ヵ所／枚 点状に塗布してください。
- 標準使用量は30～40g／枚

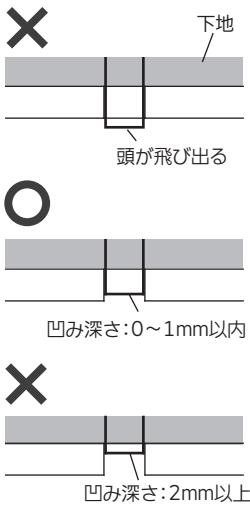
ステープル留め付け位置



- 1枚につきステープル8本以上、留め付けます。
- ステープルは足長13mmのものを使用してください。
- エアタイプの釘打機を使用する際、エア圧が高すぎるとステープルが製品に深く入り込み、保持力が低下するため、凹み深さが0～1mm以内になるように施工してください。

■推奨ステープル

釘 打 機 (推 奨 機)	●手動タイプ MAXガンタツカ TG-A(N)	●エアタイプ MAX 釘打機 エアネイラ (ステープル肩幅10mm対応用)	●エアタイプ MAX 釘打機 エアネイラ (ステープル肩幅4mm対応用)
ステープル (推 奨 品)	肩 幅：12mm 足 長：13mm MAX T3-13MB	肩 幅：10mm 足 長：13mm MAX 1013J-S	肩 幅：4mm 足 長：13mm MAX 413J-S
ステープル本数	8本／枚以上		
目安エア圧	—	0.4～0.5MPa	0.2～0.3MPa



5-2. 施工手順（レンガ張りの場合）

該当製品

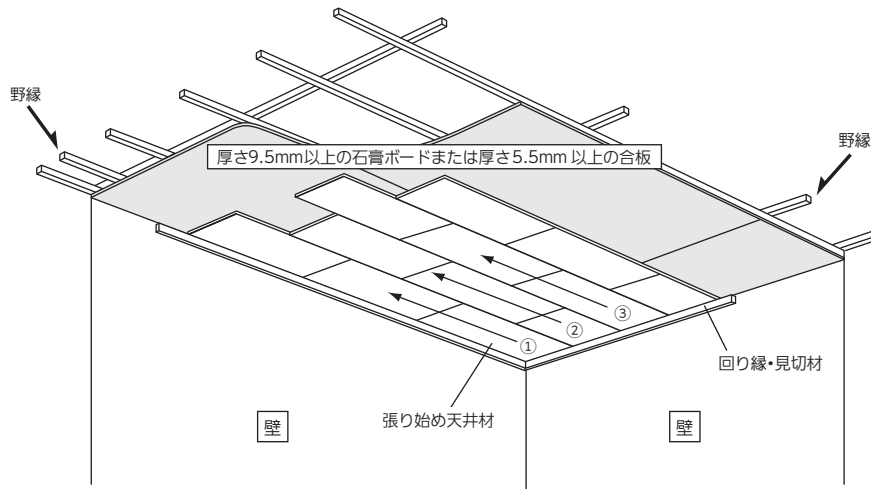
「クリアトーン 12SⅡ」 「クリアトーン 9」 「クリアトーン 9 プラス」
「パステルトーン」 「しずかW」

捨て張り工法をおすすめします

レンガ張り

(1) 下地施工

- 下地には厚さ 9.5mm以上の石膏ボードまたは厚さ 5.5mm以上の合板を捨て張りしてください。下地の不陸やビスの飛び出しがないように隙間なく張ってください。
- 捨て張り材のジョイント部と天井材のジョイント部が重ならないように施工してください。



(2) 天井材の施工

- 外観をきれいに仕上げるために、センター割付をおすすめします。
- 「接着剤塗布位置」、「ステープル留め付け位置」は5ページ 5-1.(4)「天井材の施工」を参照してください。

5-3. 施工手順（流し張りの場合）

該当製品

「クリアトーン 12SⅡ」 〈201〉 〈202〉 〈204〉

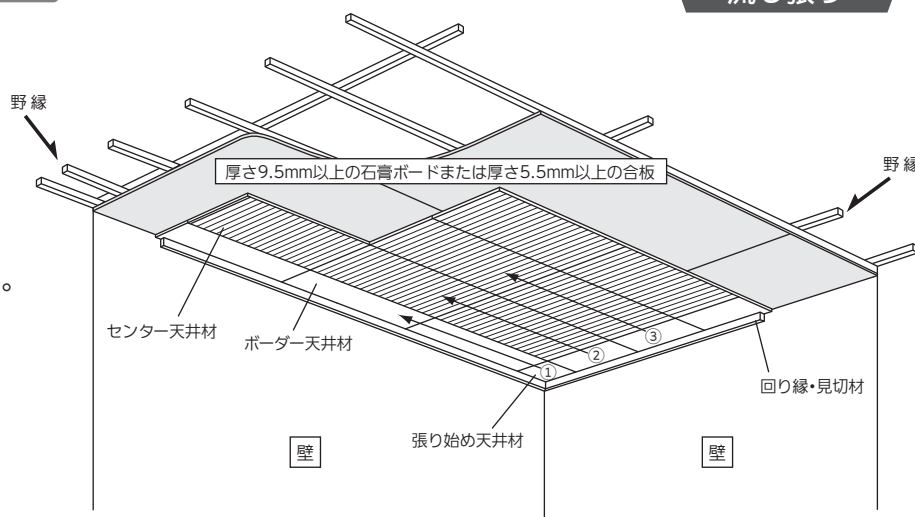
※リブ・グリッド製品は納まりにボーダー天井材が必要です。ボーダー天井材には〈006〉をおすすめします。

捨て張り工法をおすすめします

流し張り

(1) 下地施工

- 下地には厚さ 9.5mm以上の石膏ボードまたは厚さ 5.5mm以上の合板を捨て張りしてください。下地の不陸やビスの飛び出しがないように隙間なく張ってください。
- 捨て張り材のジョイント部と天井材のジョイント部が重ならないように施工してください。



(2) 天井材の施工

- 外観をきれいに仕上げるために、センター割付をおすすめします。
- 「接着剤塗布位置」、「ステープル留め付け位置」は5ページ 5-1.(4)「天井材の施工」を参照してください。

5-4. 施工手順（オンクロス施工の場合）

該当製品 「クリアトーン 12SII ラインアート」 「クリアトーン 12SII」



注意

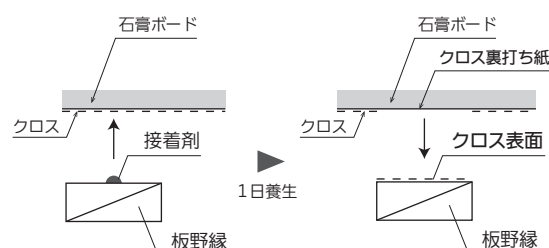
- 「クリアトーン 9 ラインアート」「クリアトーン 9」「クリアトーン 9 プラス」「パステルトーン」「しずかW」は製品裏面に特殊処理をしていないため、オンクロス施工することができませんのでご注意ください。
- リフォーム等でオンクロス施工可能品をクロスの上から施工する場合は以下の点にご確認ください。

(1) クロス表面状態及び下地の確認

- 下地が厚さ 9.5mm以上の石膏ボードまたは厚さ 5.5mm以上の合板であることを確認してください。
- クロス表面に手で触れて油が付着したり、クロス表面の傷みがひどい場合は接着不良となる恐れがありますので、クロスを剥がしてください。また、下地の石膏ボード等の傷みがひどい場合には石膏ボード等を張りなおしてください。

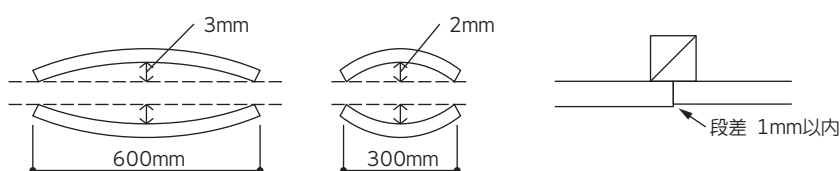
(2) クロスと下地の接着性確認

- 50mm角以上の板野縁等に専用接着剤「スピーデル工法用接着剤」を線の上に塗布し、接着したいクロス面に貼りつけます。
- 1日養生後に板野縁を剥がし、クロスの裏打ち紙から剥離していること（石膏ボード側に裏打ち紙が残っている）を確認してから、オンクロス施工をおこなってください。



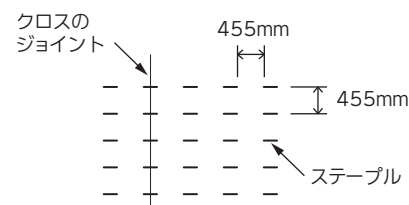
(3) 不陸の確認

- 波打ち 600mmに対して 3mm以内、300mm以内に対して 2mm以内、段差が 1mm以内であることを確認してください。範囲を超える場合は不陸調整をおこなってください。



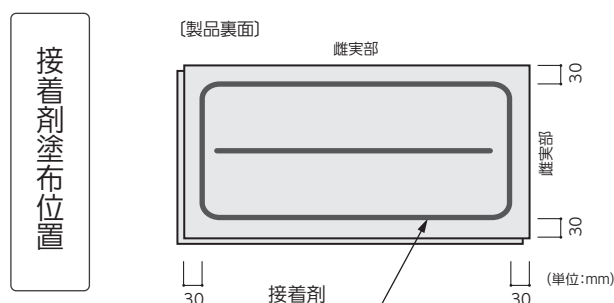
(4) クロスの下処理

- クロス剥がれを防止するために、クロスのジョイント部から縦横 455mm ピッチ以下でステープルで留め付けてください。クロスのジョイント部はステープルがまたぐように留め付けてください。（ステープルの肩幅 10mm以上、足長 10mm以上）



(5) 天井材の施工

- 必ず専用接着剤「スピーデル工法用接着剤」とステープルを併用してください。

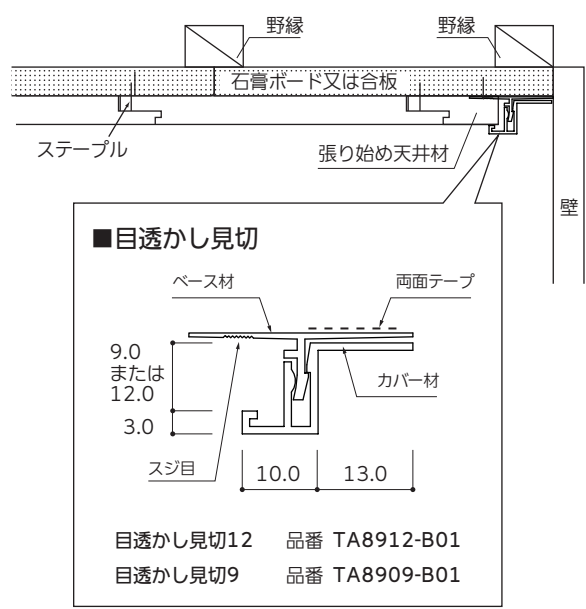


- 接着剤塗布量は幅7mm（鉛筆の太さ）を目安としてください。
- 接着剤の標準使用量は天井材1梱（3.3㎡）あたりカートリッジ2本使用が目安です。

- 「ステープル留め付け位置」は 5 ページ 5-1. (4) 「天井材の施工」を参照してください。

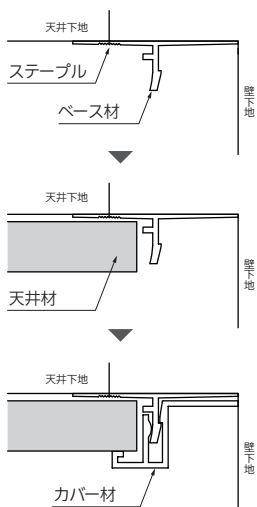
6. 造作部材納まり図

■目透かし見切(嵌合タイプ)



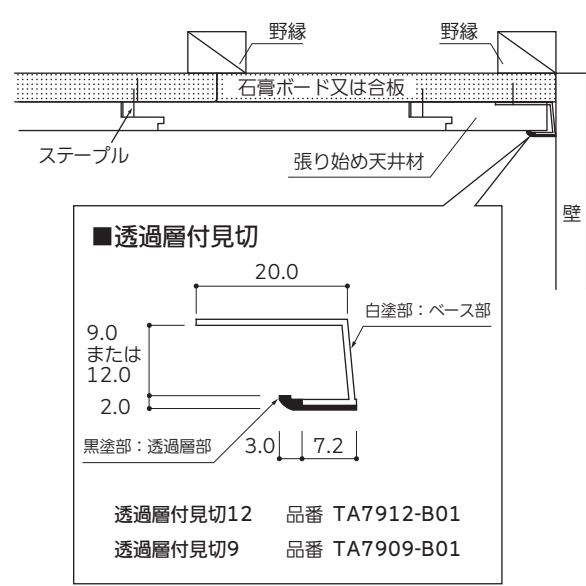
〔施工手順〕

- ①ベース材の両面テープの離型紙を剥がし、天井下地に施工します。ベース材表面のスジ目がない側を壁側とし、スジ目位置をステーブルで留め付けてください。
- ②嵌合タイプとなっておりますのでベース材を施工後、天井材を施工し、カバー材を取り付けてください。カバー材の取り付けは同梱の接着剤（エチレン酢ビ）を数箇所点付けして固定してください。



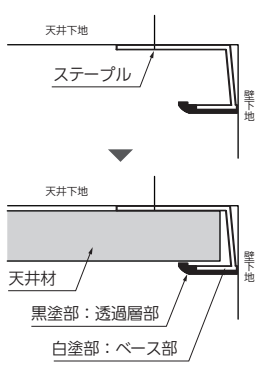
- 入隅部は留め納まり（45 度カット）としてください。カットは電動丸ノコの使用をおすすめします。ベース材とカバー材を嵌合させ（接着剤は塗布しない）天井材と同じ厚さの板で挟みカットすることでカット時の割れや曲がりを防ぐことができます。

■透過層付見切(先付けタイプ)



〔施工手順〕

- ①見切材をステーブル等で天井下地に留め付けてください。（留め付け間隔の目安は 300mm 程度です。）
- ②天井材を透過層部だけでなく、ベース部にもかかるように差し込み、施工してください。

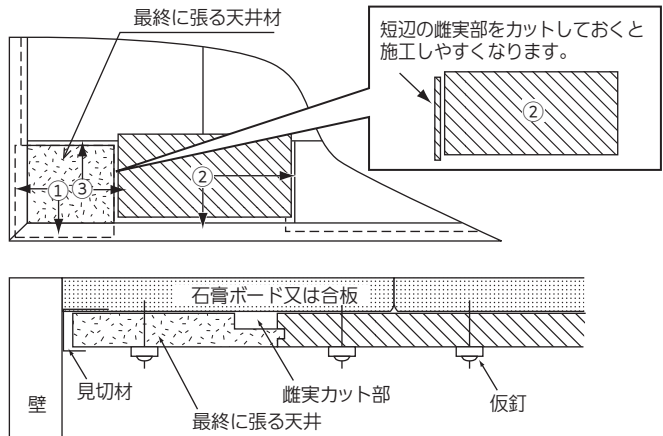
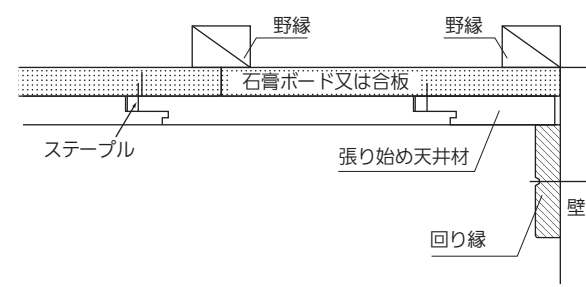


【参考：最終納め手順】

- 下図の様に最終に張る天井材から2枚目を施工する前に

- ①最終に張る天井材に接着剤を塗布し、先に挿入します。
※ステーブルによる固定はしません。
※この時、5mm程度短くカットして納めます。
- ②最終に張る天井材から2枚目を施工します。
※この時、接着剤は天井面に塗布し、仮釘で固定します。
- ③最終に張る天井材をズラして仮釘で固定します。

■回り縁(後付けタイプ)



※市販の見切材（先付けタイプ）も同様の手順にて納めてください。

ダイロートン健康快適天井材

「クリアトーン 12SⅡラインアート」 「クリアトーン 9 ラインアート」 「クリアトーン 12SⅡ」
「クリアトーン 9」 「クリアトーン 9 プラス」 「パステルトーン」

ダイケンボード木質調湿天井材

「しずかW」





注意

- ・天井材には直接重量物を吊り下げず、下地材にしっかりと固定してください。破損及び落下の危険性があります。
- ・天井材に粘着テープ（ガムテープ等）を貼ったり、画鋲やピンなどを挿したりしないでください。破損する場合があります。
- ・天井材は合板や石膏ボードよりも柔らかい基材なので、物をぶつけると破損する場合があります。
- ・天井材のお手入れは、“はたき”等で天井材を傷つけないよう注意して、ほこりを落としてください。また水や洗剤を含んだ雑巾等で拭かないでください。天井材表面が破損する恐れがあります。
- ・室内の環境を長時間に渡り、多湿にしないでください。カビやたわみ、目隙などが発生する場合があります。

ご理解いただきたいこと

■本製品は湿度変化により寸法が若干伸縮することがあります。継ぎ目部分に若干の盛り上がり、または隙間が発生することがあります。

DAIKEN 製品の品質保証について

対象製品 クリアトーン12SⅡ ラインアート クリアトーン9 ラインアート クリアトーン12SⅡ クリアトーン9 クリアトーン9プラス パステルトーン しずかW	免責事項 製品の不具合原因が①～⑯のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。 ①建物の設計・施工に起因する不具合 ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合 ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はそのほかの不具合 ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合 ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合 ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合 ⑦入居者または第三者の不適切な使用または維持管理等に起因する不具合 ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合 ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合 ⑩用途外に使用された場合の故障および損害 ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合 ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合 ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合 ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合 ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費 ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合 ※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境 ※注意：吸音性能は保証対象外とします。なお、吸音性能は一定の条件下で測定された数値であり施工現場または居住後における性能を保証するものではありません。
保証事項 通常的环境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合を無料で修理します。 尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。 ※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。（原則、新品交換は含みません）	
保証期間 本製品の、保証期間は2年間です 弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としております。 保証期間を経過したものは、有料となります。	

廃棄上の注意

本製品を廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および地方自治体の規制に基づき適切な処理をおこなってください。

お客様へ
のお願い

製品のお取扱い・修理・工事などについては、始めに工事をされた工事店、販売店様へご相談ください。

製品の仕様や施工方法に関するお問い合わせは

お客様センター

☎0120-787-505

受付時間：平日 9:00 ～ 17:00

（土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。）

お問い合わせ、カタログ請求は、Webでも！

DAIKEN のホームページのご案内

DAIKEN お客様サポート

検索

<https://www.daiken.jp/contact/>

メールで写真も送ることができます。



ユーザー登録サービス

商品を末永く安全に使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はこちらから（無料）

DAIKEN ユーザー登録

検索

<https://service.daiken.jp/user/>

